

1 題材名

『坂東武者・将門は英雄か？反逆者か？』 <1年生 歴史分野 「武士の成長」>
～平将門と千葉氏の関係をさぐる～

2 授業のねらい

- ①「千葉氏のルーツを探る」と出てくるのが有名人の平将門です。「朝廷に逆らった人物・反逆者」であり「関東の英雄」でもある将門は、平氏一門の千葉氏にとって尊敬すべき先駆者なのでしょうか？それとも少し迷惑な先祖でしかないのでしょうか？教科書には書かれていない部分を資料から確認して、千葉氏の学習の導入とします。
- ②将門が持つ怨霊（「将門の祟り！」）としてのイメージにも言及します。その際、将門伝説をいくつか披露して（神田明神、成田山新勝寺、七天王塚、大手町の首塚、黒砂・・・などの中から）興味・関心を高めます。
- ③学習の際に、関東地方の地図を用いて将門の影響力が及んだ地域の広さを実感します。

3 指導計画上の位置付け

◇1時間扱い

◇第3章：中世の日本 1節：武士の政権の成立 序盤で取り扱える内容です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①将門と千葉氏、それぞれがいた時代を資料で調べます。
 - * 「将門の乱」 は 937～940 年頃 千葉氏が本拠を移して千葉氏を名乗ったのは 1126 年
 - * 「200 年近く離れていて両者に関係があるとすれば？」を考える
系図（血筋）上の関係、開拓者と子孫、支配者と部下、土地の所有者と借主・・・など
- ②将門の乱の概要とその影響等を資料で確認します。（すでに授業で扱ってれば簡単に）
 - * 朝廷への反抗
国司に対する反感（侮辱的な扱い、搾取、いいかげんな政治・・・）
出頭命令 → 投獄（その後帰国）、 国府を占領 → 国司追放 など
 - * 関東の英雄
人々の支持（在地の武士）、関東全域に拡大、 など
- ③あらためて、将門と千葉氏の関係を考えて発表します。
 - * 同じ平氏一族の先祖としての位置付け、英雄として崇拝、東国武士の自立の象徴 など

<活用する主な資料>

- ◎平氏・千葉氏の系図 ◎年表 ◎伸びゆく千葉市 ◎古地図 ◎将門伝説
- ◎『将門と忠常』『千葉氏入門 Q&A』（共に本館作成のブックレット）
- ◎『将門の怨霊』『相馬の野馬追』（共に本館収蔵絵図）
- ◎1993 岩井（現坂東）市作成まんが『坂東の風雲児・平将門』

5 指導上の留意点、その他

- ◇武士の登場及び武士団の成長を学習してから東国の武士たちの動向と関連させることで、その後の武家政権の成立につなげることができます。
- ◇「『鎌倉幕府』は東国の武士たちの夢の結晶です」という話をすれば、東国の武士にとって将門がどのような存在であったかが想像できると思います。